838
297
116
林

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

源姓

小林

斯波九衛門義將六世
小林弥兵衛義忠後胤

小林十郎九衛門

建武
慶長年中始奉仕
台徳公為御代官賜知行千石

未國下野

紋 花輪違

根岸信浦氏寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

小林彦五郎

妻

如文為御代官于治元年癸酉十二月廿五日
于松林院殿天心良白大信士

小林長右衛門

妻

生江戸
于治元年戊戌閏十二月十八日于
為御書院番町野土屋收于雲松院
寛文九年己酉三月廿五日
于清光院殿覺譽陽山信士

葬同寺

小林十郎兵衛

妻

生江戸
寛文九年己酉七月廿四日于俵蔵門和泉守傳之為小普請同北六番組
相模守傳之為小普請同北六番組于俵蔵門和泉守傳之為小普請同北六番組
才模守傳之為小普請同北六番組于俵蔵門和泉守傳之為小普請同北六番組
同十一年辛亥九十三為御書院番町野土屋收于雲松院
元禄十二年己卯九月廿日御禮獻金馬代
宝永五年戊子閏正月七日于
于源松院殿道譽順喜居士

葬同寺

妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

小林伊織

寛
寛安

生
宝永五年六月十二跡同千治萬中善緒松平主計頭純
同十五日継目御礼献金島代
正徳三年寛闰五十二跡
号涼心院殿清参順覚居士

女子
如

小林奎之助

寛
寛安

直時
十郎左衛門

正徳三年寛八九跡同千名萬中善緒松平主計頭純
傳之為小普請松平主計頭純同年九十五継目御礼
金島代享保四年寛十十六為御書院番衣川下總守組
同
元文五年寛十二世跡
号芙相院殿好参儀鶴居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

利啓　小林十郎兵衛門
　妻　進藤三左衛門女
　　寛延三年庚午十二月廿五日寺号明光院永譽全照大姉
　妻一可光　孫十郎　女
　　宝暦四年甲戌六月十六日寺号常昌院殿見誉祐光大姉

生江戸
寛保元年辛酉三廿日跡目千石蔀高而御光明寺殿
伊豆守傳之為中書詰大國忠四郎十砲同年九廿一跡目
御徒組銀馬代同年十廿八為西丸御書院番与力延享四
卯年十廿四病死

女子
　妻

宝暦十二年壬午七月九日光花院殿繁蒼尼大姉

木原兵二郎白狸書
天明六年丙午十二月十二日寺号錦華院殿紅雲倫事大姉

利度　小林十郎兵衛門
　妻　島崎市郎右衛門女
　　寛政九年丁巳二月廿六日寺号清林院殿泊蒼桂公大姉
　女　子爵光院殿顧三嘉禧
生江戸
宝暦十一年辛巳十廿四日跡目千石
天明二年壬寅三月七日病死寺同寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

作九衛門
女子 母
高敷馬
高野

萩原求五郎
杉浦弥一郎

寿

女子 母
時寿 母
小林行之助
生年

明和五年申子年之高寿
于風與院殿唯誉林夏童子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

平姓

小林

本國三河　敏上羽栗

一說清和源氏為家濃州神野氏云々

是說未詳

桓武天皇後胤小松内大臣重盛男

維盛未子平太夫季衡居上總州小林始子小林氏

季衡之未孫大和守時定數代後裔

重定 ― 小林紀伊守

嘉吉年中始奉仕

親忠君ニ賜食邑於二州參河鎌倉物脇指

平左衛門尉

文亀三年正八歿森謝徳山毘恩寺
号天栄居士

重時　小林平九衛門　勝之助
　生三州額田郡岡崎野見村　居住
　継父跡孝仕
　長親君賜之勝名後孝仕
　信忠君及
　清康君加賜之祖安祥内古井邑

先日小林紀行成川事有之方
ニ而十年余於
老人吾方ニ
下宿

重次　小林勝之助
　応仁元年丁亥生三州額田郡岡崎野見邑
　孝仕両能見邑松平氏女
　清康君為能見大林寺旦那賜安祥内古井内邑

重次男
重吉
小林源之助
廣忠君奉仕兄重次同戦

天文十七年戊申七月廿九日三州小豆坂軍戦死年廿七
法名雲賀居士
但右旧跡大庄屋小林新右エ門屋鋪内有之ト云

平九衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

八十一歳而改号道林　或少宰坂九々

謝徳山覚音寺葬

重政　正　小林勝之助　平大夫　平左衛門政林

文亀三年癸亥生二州

天文年中奉仕

廣忠君永禄元年卯年奉仕

大神君御入長篠長年役供奉或勤御使番易地二州内

同十八年庚寅相州当原役為御鉾奉行有不遁　御旨而

慶長元年辛丑七廿一歳等

執居

慶長六年辛丑七廿一歳等　八十七　於二号清林大禅定門　政

又重道　正國　小林権大夫　或平大夫

天文二年癸巳生二州古井内

正元　小林若狭守

生二州

永禄十一年戊辰三月七日正國戦死後父重正令正成為

嗣子正元不悦遂去二州経回諸州到京都仕柴裡

元和八年壬戌改与花房志摩守正

妻神屋宗湛女

幼年為御小姓永禄十一年戊辰三月従遠州堀川而戦死年三十六

正家　信次　小林左大史

慶長十年乙酉奉仕江戸寛永二年

台徳公後陽成帝　駿河大納言忠長卿為大御番場二百石

半左衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

寛永九年壬申歳拾四才　御教免為大御番
賜二百俵扶持遠元年乙辰九拾
慶安四年辛卯四八致拝淳指居士午迄惠寺葬代ゝ
葬地下又　妻杉崎権左衛門孝安

正重　小林杢右衛門
妻

寛永十七年仕　駿河大納言殿御附後親居四十二年乙矣又一同
御赦免正保元年六月大御番
万治二年亥十二廿三日賜二百俵
延宝七年己未九月廿三日致隠居
正成　小林杢右衛門
妻

正秀　小林杢右衛門
政安　小林治部右衛門
妻

正元　小林善兵衛
妻

正信　小林源七郎
妻

小林杢右衛門
妻

小林源七郎
妻

小林杢右衛門
妻

小林善兵衛
妻

小林源七郎
妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

承應三年甲午七十八部屋住為大御番拜越中守正勝
二百俵 後多賜 貞享元年甲子七月廿朱 北六番新御番天野甚九郎門
同年十二月十九御定五十俵 右賜二百五十俵
宝永二年乙酉正十五致舞日輪寺
女子 甲府家臣奥津久左衛門妻
女子 神尾主馬助倫山名豊前守藤基妻 法名童善尼
女子 某 某陸奥守

正忠 小林長十郎
重長 女 甲府家臣 小須賀甚左衛門妻 甲斐守
生江戸 延宝三年甲寅六月廿九日 部屋住為大御番拜越中守正勝
宝永二年乙酉二月九日 二百俵 同九年壬辰閏十二月九日 二百五十俵 菊間縁側御老中列座
正徳元年辛卯十二月十五日 致舞日輪寺
某 陸奥守 某

正章 小林長十郎
兄 重長 為養子
正武 関市左衛門
秋元但馬守傳之 享保九年甲辰十二月十五日 新御番
元文元年丙辰八十八日 致舞日輪寺
号大光院洗蔵義純豊林居士
女子 大輿之仕後剃髪西 善興尼 八幡町 号圓照院

正長 小林甚七郎
妻 松平伯耆守家臣 倉橋 某
生江戸 享保三年戊戌正徳元年辛卯十二月十五日 新御番
元文元年丙辰十二月廿三日 致舞日輪寺
列座松平伊予守傳之同 寛保二年壬戌三月廿四日 病為 十五日
寛保二年壬戌三月廿四日 病為 十五日 致舞日輪寺
号厚禅居士
妻 倉橋氏 某
京書傳口明和四年丁亥 十月廿日 死 年五十六 同 号春

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

可房　中根平九衛門
　　妻
長香　水長江　小倉藩士　平沢昇
　　妻
　女子　大熊小兵衛妻
正芳　小林鉄次郎
　　妻伊藤家勝方高良侯女
　生江戸　為中根齊宮養子
　　妻　若林藤吉高直女
明和四年丁亥十四才父目同年十二月廿四日
明和七年庚寅八月廿一日　松平永嶋助丞殿時　大御番　稲垣長門守組　天明五年乙巳二月廿六日　麻布善福寺
号赤水院啟圓光玄珠居士
大的射手時被二仰聞一候
　女子　河邨帯刀通候妻
　女子　岩佐久之烝勝明妻
正供　小林鉄次郎
　　実河邨帯刀通候二男
　　実母野正長女
　　妻　御書院番伊藤幸九衛門寅茂女
　　　享和二壬戌三月九日　同寺
　　　号清香院啟室妙達大姉
　　妻　御書院番木島傳右衛門
　　　女
再妻　御徒組頭木島傳右衛門
　妻　三稜岩高成烈室　後妻津田外記正明二男正時女
生江戸
天明五年乙巳六月廿一日　水野出羽守傳之為中奥詰　天野山城守支配
同八年戊申十二月廿五日　為大御番　村木和泉守組

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
母伊藤孝右衛門女
小林全之助
某 母同
生ル
文化五辰十二
良玖院溫光祥童子

女子

文化六巳十九
子梅窓院曇庭妙香禅童女

小林祐太郎
母同
生ル

正次　小林勝之助　一平左衛門　紋上羽蝶蜻蛉

天文十七年戊申生二十九　妻紀伊守護山田但馬正重女

永禄六年癸亥歳初和田小山役偏酒井左衛門尉忠次手
著業高名戸田九門一西挨見之正次年十六歳
同刑高大神役籠下高名伊品皆役味方崩特與大久保
次右衛門中根源次郎池野水之助父正次四人踏止之
天正十二年甲申長久手役山田平一郎山口傳之重友正次
先登然端黒金次指物而木林久兵衛者奉大木打破
得首同十八年庚寅相刑小田原役偏井伊兵部大輔
由政手籠曲輪而與小幡某合戦被疵退口令
後殿開来御入部時令直奏遍墓誌名
慶長十九年甲寅卒家　俗称免拝觀

同七年大坂役為御鉄砲奉行賜采地
元和元年九月八日卒年七十二葬四谷福寿院
号天感道光

小林傳四郎

吉勝 妻同

若年寄仕享保之年号三州岡崎生
大神君ニ初本野原役尽ニ軍功改新庁脱即日以医者雇
賜養生御薬減半食而不能自在閉居在所
三州而没 元禄二年己巳東三月十旬
本地武百五拾石元和四年戊午四月九日死年九十一号憲道清居士

重正 小林兵九衛門
生二男
慶長三年十壽仕

長勝 傳右門 甘年 五本

忠徳云為大御番後月廃
寛永十年癸未九十四没葬牛込
号重恩院正蓍道俊居士

重堅 小林清兵衛 清慶
如浪人中島伊右衛門
寛朝北条六兵衛門 女

慶長十二年丁未生
寛永二十年癸未四月新規為國廻與力同年
中根壱岐守支配賜二百五十石天和二年戌四十國廻
止為小人頭組合五拾俵負辛三年内寅九廿五俵
就年勤労以賜金二枚御番 後免同年十二為酒井

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

能登守 同四年丁卯七十致仕号不見
元禄三年庚午正十一没年八十法寿寺
号自得院殿性文不見居士

女子 仙石茂兵衛 妻

重信 小林治左衛門
母朝生氏寛文七年丁未六廿七没葬同寺号墓耀光院清誉一貞信士

女子 佐原三右衛門景之妻
女子 三輪彦左衛門久景室

雪山 鐘啓 長壽寺
為相州鎌倉建長寺第十七代長寿寺住

日蓮宗法蓮寺

行中 姓重 小林金十郎
實勤而善小林十兵衛重吉二男
寛文五年乙巳生母
寛文十三年癸丑九月廿四日没葬高養寺同四年丙辰十
家督二百五十石為小普請組頭寄合役
元禄元年戊辰十二月廿二日為元方御納戸
同十四年辛巳九月廿六日為同組頭寄合

宝永六年正月十二日 為御方御納戸組頭
正徳六年四月二十一日 為
蓮浄院廣敷番頭 享保七年三月一日 為
行姓名御用人 同年十二月十九日 依
六十二歳 安養寺号 同年十九日 死

行鳥 小林金五郎
女子 田澤求馬妻
行孝 田澤平馬
女子 小林求馬妻
行孝 小林金十郎

小田切喜兵衛支配 同十九年甲寅六月廿三日 死
安養寺号 泰巖院殿宗誉道仙居士

正武 田澤平馬
養子 田澤勿右衛門昌喜
行篤 養子 依 五年 田澤氏後
女子 御書院番 三枝傳五郎 元文三年戊午十二月二日 死市谷 自證院泰巖宗誉禅定尼
行孝 田澤求馬 御書院番 大御番 赤井彦之亟 泰章女

女子 小林金五郎妻
元禄十五年壬午生 江戸
正徳四年甲午五月七日 御目見 享保十一年丙午十二月廿五日 死 水野和泉守傳之 小普請
行鳥 小林金十郎
女子 田澤求馬妻
行孝 田澤平馬
女子 小林求馬妻
行孝 小林金十郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

享保六年辛丑生（江戸
同十九年甲寅九二歳日三百五十石為中書詩林五郎右
夫配延享元年甲子十一廿一為御書院番高力若狭守組
明和八年辛卯二廿五為
浮岸居御用人同年十二十六布衣安永二年癸巳三五依
退去為寄合松倉佐渡守傳之同年六廿四為御船手
天明元年十五九廿九始
若屋淺草新助 御徒同年十六四九御賜時服三
同四年辰六十一歿年六十四葬安養寺
号正覚院殿大蓍覚音居士

女子 早逝

行前 小林主馬 金十郎
女赤井彦之丞妻寿子

妻

生江戸
宝暦十三年癸未九月廿日 御目見 天明四年甲辰九六歳月
三百五十石 内藤菊川御弟 御老中列坐牧野備後守傳ク
為小普請 永井遠物守配同五年乙巳十二廿六為御書院番
大久保大和守養

女子 母同
為玉滝光女

依代官
川崎 平右衛門定善養

常昌　河野吉次郎
　　智
　　生江戸
　　安永二年癸巳二月　為河野勝右衛門通好養子
　　同八年己亥八月離縁帰家

女子
智

侍医院書
永井甫次郎直道妻

小林永之助
　寛三田権之助守貞五男
　寅母

重元　小林藤四郎　女

重忠　小林十兵衛　男

生二才
慶長十年乙巳於奉仕
台徳公為大御番松平大隅守
寛永十年癸酉並加二百石
並加二百石上納号花林宗春信士

重吉　小林十兵衛　男

生

寛永十二年乙亥跡目相続
後為大御番大久保右京亮組
渡邉大隅守組加五十俵
天和二年壬戌七月廿五日

友重　小林十三郎
母

生年詳
延宝元年癸丑八月十七日
部屋住大御番
天和二年壬戌十二月跡目二百五十石
正徳二年壬辰八月廿三日
于染井圓光院殿照蒼深徹居士

傳四郎
実永三年丙戌九月廿四日
于光照院殿蒼法心大師

葬法正寺
法名蒼宗薫居士

重良　小林三之丞
實
実母

生年詳
実永六年己丑四月廿六日
正徳二年壬辰八月廿九日跡目
傳之丞
于教安院殿頓蒼證圓信士

廿子　妻正室三男世話
清厳院童女

待中　小林金十郎
嘗

為同姓清兵衛重堅
養子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

保良　小林金兵衛　十兵衛

室
實妙

生母
享保八年卯十二歳目前門而御先中刻吐杯左近將監傳之為小普請御毋覚左衛門支配同九年申辰二廿二為大御番相勤寸仕依寛保元年酉五十九吉病緯為筒井内蔵丞為宝暦四年戌五十八為大御番大久保右京亮組同十一年辛巳九廿八次病緯為小普請明和二年酉十二廿五改名左近将監法正寺　弁法正寺

妻　大隅守菅原八三郎常清養女
實佐弟十九歳門元年

子
女子

小林十次郎
母芳

生母
明和四年丁亥二　歳日為小普請
同六年己丑十二廿六為大御番
安永二年癸巳七十七為新御番同四年未四廿五病緯
為隼人

友澄生野弥三郎支房為養子

某　小林五郎八
母

十石衛門

子　少将勝部内書
室　宝二酉年四月廿日園俊敬行娘寿

享保八年癸卯六廿八日
号清香荷負寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

正保三年丙戌二月廿日卒 法名河雨二百俵 惠小普請
同五年戊子二五為大御番石川播磨守組 後、青山図書少俵
延宝元年癸丑九十五為大御番石川播磨守組 後、青山図書少俵
天和二年壬戌加百俵 元方御金奉行加百俵
元禄四年辛未五月七日致仕 号堅空院 改因法全真居士
寛文十年庚戌十月廿四日 播磨新田御用地守 名上高 御内民部同助 鎌塚村 御代官深谷弥五兵衛 領分支配
延宝七年己未六十四卒 号天王横町稲荷山妙行寺 妻
元禄四年辛未七月一日卒 号戸田備後守室 妻 好永院

正勝 小林平右衛門 ▲領分支配 詰方

女 雨宮勢馬守正種女 正保五年戊子十二月廿六日卒 了正院放妙周日 後妻
妻 御中生組 三枝摂津守組 子 浦彦九郎勝女

生江戸 寛文十二年壬子二月廿六日卒 号二而 部屋住 大御番植村庄次郎 妻
延宝七年己未十二月九日 御膳物方 青山図書少俵 妻
元禄四年辛未七月一日卒 号妙目 四百俵 菊間縁 御老中列坐

△同九年六十九卒 号松浦内蔵允祖母

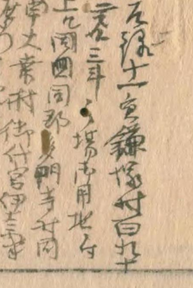
重嗣 小林傳次郎

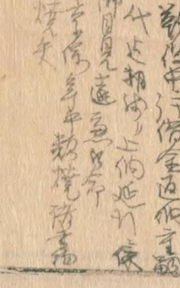
女 杉浦彦左衛門親勝 元文三年戊午八十五死 四谷天王横町妙行寺 妻
妻 春日河内守貞顕女 正徳四年甲午五十五歳 号智性院慧光貞昭大姉

生江戸 延宝八年庚申
元禄十五年壬午六十歳 杜松院日理 妙行寺
母 傳之 為十善寺
同年十二月一日 為大御番 表門北側 寺
享保元年丙申 九月廿三日 四百俵 菊間縁 御老中列坐 稲葉
十七年壬子 閏四月廿日卒 法名龍岳 山城守傳之 同十五年庚戌六十致仕 号曹渓院殿 破山 心了開居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

延宝九年
右衛門
為重隠





正保三年丙戌二月廿八日 河内二百俵 恩賞
同五年戊子二五為大御番 石川播磨守組
延宝元年癸丑九十為文 右御金奉行 九十俵
大和二年甲寅加百俵 元禄四年辛未五七致年六十一
元禄四年辛未五七致年六十一 芽市谷桃櫻村寺
号堅宝院 故因法全真居士 △同九年六十九 為浦内蔵允祖
寛文十年庚戌小御回播海新田御用地 ▲領地 寛文十年庚戌小御回播海新田御用地
所内武州同郡鍾塚村 代官深谷喜左衛門 詰為
小林平右衛門 ▲領地 寛文十年庚戌小御回播海新田御用地
所内武州同郡鍾塚村 代官深谷喜左衛門 詰為

正勝
女 雨宮對馬守正雄女 正保五年戊子六十四年 四月廿八日 天王横町稲荷山妙行寺葬
妻 御十生組 三枝摂津守組 ▲ 乙浦亮九衛門 親勝女 正保五年戊子六十四年 四月廿八日 天王横町稲荷山妙行寺葬

生江広兼 慶二年丙申二四
寛文十二年壬子五共六部屋住為大御番植村庄
紀貞二百俵 延宝七年己未十二九為御勝物方 書院番 組
元禄四年辛未七世一跡 目四百俵 菊間縁御老中列坐

戸田山城守傳之 同十五年壬寅六十四年 天王横町稲荷山妙行寺葬
洞雲寺号曹渓院殿破心了閑居士

重嗣 小林傳次郎 左治兵衛

女 杉浦彦左衛門親勝女 元文二年丁巳八五死四谷天王横町稲荷山妙行寺葬
寿春日河内守貞顯女 正徳四年甲午五十五 改寿圓寺
号智雲寺院憲光貞昭大姉

生江戸 延宝八年庚申
元禄十五年壬午八廿五 跡目四百俵 菊間縁御老中列坐 稲葉
丹後守傳之為十五番
同年十二廿一為大御番 番頭 稲葉丹後守組
宝永元年甲申 九七改年三十七 芽池袋
号光浪院殿 獅山壽鏡居士

重嗣又重好 重好 勤仕中 行賞百俵 寄合
代々相勤 上野延宝伝馬 南側見通 角々
焼失 享保 年中 勅使饗応 諸事

正保十一寅歳 御城 村百九十
二年ニ 場所 用地 内
上屋敷四ヶ所 内 北側 当村
南之東村 街道 御宮 伊勢
ヨリ 多クハ 此所ニ 当ル 於ル
江戸 四年ニ 会ス 之ヲ 物成 誰

雅知　小林市十郎　右衛門
實同姓勝之助正羽三男享保三年生り十五年時の十三才
實母同姓十左門直政女　羽室山猪兵衛家号中村院放亀隆羽屋
妻養父重門女　文政七年申年中の五年の寺号
号智勝院放華陵知經大姉

室永元年甲申生り十六才
享保元年丙申十一月九跡目　百俵　前例の如く
阿部豊後守傳之為小姓詰　仕前伊豆守組
同四年己亥御供仰覚九衛門　妻同九年甲辰十九歳
大御番被召加　同十八年癸丑八才大番新御番入
陰人御免　明和六年己丑七十七歳
天明八年戊申五二才老練願之通
小普請金四両遣　寛政四年壬子七三歳
洞雲寺号大仙院敬巌玄甲居士

女子
母妻　養子雅知　妻
妻　小林久五郎　平右衛門
實河島利兵衛國實三男　實政四年壬子生り
實母家女　寛政十年戊午家督
妻　山田主計勝喜女　寛政十年戊午生り
生り　寛政二年庚戌十月
明和元年甲申閏十二月十六日　百俵　大御番高木主水正組
賜二月俵　寛政四年壬子九
同十二年庚申　十二月十八日　辛七兼洞雲寺住
明和五年戊子九月九日大的上覧同年十二月革羽上覧同六年己丑九月十日大的上覧
同七年庚寅三月十四日大的上覧　寛政三年辛亥七月三日歿法名勝子院

正業 小林直三郎
女 宝暦八年戊寅九月廿日没 法名 竹窓元倚居士
安 宝暦八年戊寅九月廿日没 法名 竹窓元倚居士

正寧 小林傳次郎 左治兵衛
女 山田主計勝善女 号妙法院殿蓮宝浄香大姉
妻 生没不詳
寛政十年戊午十二月廿日没 法名 妙法院殿蓮宝浄香大姉
文化二年乙丑五月 朝散大夫 行伊勢守 従五位下 松平定信 号楽翁 寛政八年丙辰七月 任老中首座 同年十月廿日 任将軍補佐 寛政十二年庚申正月廿日 依病辞職 文政十二年己丑五月廿一日薨 年七十一 葬于白河 法名 浩然院殿従二位大相国
女 某 小林庄三郎
女 正賀 高寛 河島鉄之助
女 三宅宇右衛門正勝妻
女 女子 早世
女 女子 乃至陸奥国仙台城主伊達周宗公之先祖妻

寛政二年庚戌 従五位下 叙爵
寛政十二年庚申十二月廿三日 為河島小弥太高寿養子

正助 小林 敏出奔
女 遠山修理亮家臣 佐平佐助信継女
妻 佐平佐助信継妻

早世
小村寿太郎正誼故有子爲養
正妻
八百姫
女子
小村半之門
女子
加藤久吉室
女子
小村十大夫
忠吉
女子
生六月
天正年始拜
大神君後奉仕文禄元年
台徳公爲大御番賜下總州而二百石後爲玉藻奉行
寛永十四年十月正十二歳四谷増光山常運寺
号法山院殿二説淨林大禅定門
重時
女子
小村十大夫

生江戸
寛永十四年丁丑踊目二為御書院番後板倉市正時
寛文五年乙巳四月八日没年
号超月院殿日憲拾吟大禅定門
寿常運寺

重成 小林太郎左衛門
妙 御物ノ者ヤ
妻山同十兵衛景頂女
寛文十一年辛亥七十一歳
生江戸
寛文四年甲辰九月
為小普請
延宝四年丙辰四十五歳
後辞為小普請
御目見同五年丁巳十四歳
十一月廿日
為御書院番柴田和泉守組
宝永二年乙酉六十二没
号覚源院殿心空浄春居士
寿常運寺

女子
妙
小林源太夫
妙閑
為同姐之節右衛門
正保二年乙酉十月廿六日
号雅華童女
寿常運寺

室
妙閑

童形
妙閑

養子

寛文四年甲辰十二月廿日
号紅安宗寿童子
寿常運寺

女子

寛文十三年癸丑六月廿日
号良然禅定尼
寿常運寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

小林松次郎

女

生江戸
宝永二年乙酉八歳跡目三百俵菊間御老中列土座
相摸寺傳之為小普請
享保四年己亥二為伊州覺左衛門支配同年十七為
御書院番伊澤播磨守組
宝暦七年十丑九十六致亡
号廣運院殿誉蒼澤繁居士

妻
女
女子

延宝六年戊午三九九日寺
于菩提樹光童子
元禄八年乙亥正九日葬同寺
号感相智應童女

新藏　太郎左衛門

正勝　小林十大夫

女

生江戸
宝暦七年丁丑

跡目三百俵

女子
同

小普請松前伊豆守組
山淵助左衛門景倩妻

享保八年癸卯八十三歳葬同寺
号徹心院忘月清圓大姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
如同

正峰
小林太郎左衛門尉

宝暦六年申子九月廿四日
号智雲院耀屋秋林大姉

女子
咸

小林主税

生母
天明八年戊申十一月二十四日三百俵

宝暦六年丙子九月廿四日

正直　小林佐兵衛門

女　生ル尸

正重　小林万五郎

女　楚左衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

重久 小林 金大夫
　　黄楊山金兵衛重
　　貫切小林太郎助常重妻

生江戸

左源八幸之妻七月十日為従兄入道実子

佐九衛門

女子

女子 加藤久太夫景親妻

大河内兵九衛門忠次妻

重成 小林 長九衛門
　　母同

生前
慶長年中孝仕
台徳公為大御番賜百五
寛永十七年庚申並加二百石
同十五年戊寅御役
号外翁西雲居士

寛永五年戊子正四位
同年十月廿六日
于高庵寿大
七十

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

直次　小林長五郎
女

生江戸
寛永十五年戌寅跡因白若年奉仕
台徳公為御小性組永井信濃守組賜二百石
寛永八年辛未四才為御
詞跡目正保四年丁亥二廿六歳
同年九廿六為二丸御留守居加賜四百石
明暦二年丙申正廿五致年六十二歳四谷金長寺
号源室浄本居士

女子　大久保半左門忠平妻

正矩　小林市左衛門　致仕是空
女

直守　小林六郎右衛門
女

生江戸　寛文二年壬寅十一月九為大御番大久保右京亮
元禄十年丁丑七十跡目二百五十俵前加御先中列坐
土屋相模守傷之同十一年戊寅四五月病辞為

生江戸
正保四年丁亥十二廿五新規為小十人為右御留守組
同五年戊子六十四為新御番駒井右京組賜二百
五十俵寛文十三年辛丑二十三火病辞為小普請
元禄十年丁丑二廿九致年
号春山禅峯居士

次郎太夫

小普請松平主計頭組同心致仕改是定
宝永六年己丑九十七歳
号本光院雲峰是空居士

室 三浦平十郎重吉娘
妙因

小林市太夫 長右衛門
重矩
實

妻 新見
生江戸
元禄十一年戊寅十三歳家督二百五十俵前御先仲
女 寛延元辰年十月十七日
号玉泉院江通妙壽妹

重彰
妙因

延享五年戊辰十二月十日 寺岡寺
号重彰院信章尼

烈堂土屋相模守傳之為中奥詰松平主計頭組
同心享保十三年戊申六十五為大御番
享保二十年乙卯七月七日病辞為小普請組入御免
寛保三年癸亥十一月廿三日卒于家
葬全長寿寺于實方院高雲一峰大徳

重英
妙新

小林市右衛門

寛延元辰年十月廿七日
号玉泉院江通妙新妻

享保九年甲辰六月廿五日
二十歳同寺学窓
義孝良忠居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

小林新十郎　　方
實所野又次郎正春二男
實母

生江戸
寛保三年癸亥十二家督二百五十俵為小普請
竹中周防守支配延享二年乙丑二十二大御番松平大隅
少納言宣雄四年卯歳大工頭
弓組證誠院照雲良了

政房　小林伊織　　六郎右衛門
母

生江戸

小林翔房
母

生江戸
寛政元年己酉

跡目二百五十俵

宝暦二年壬申十二廿七朔屋住為大御番
同四年甲戌九四跡目二百五十俵同九年己卯四代五為
元方御広敷番永八年己酉四十六為新御番
寛政元年己酉　　政年
弓　　年左長寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

薩島作左衛門
如同
童形
如同
童形
如同
政光
如同
為兄勘当
養子
為庄島一郎兵衛
養子
明和六年巳丑九月廿日
号良恵禅童子
明和九年辰正月廿日
号秋雲童子

直吉
小林
如同
政光
小林吉蔵
寅年
六郎右衛門
生れ
寛政七年卯
右近大記
跡目二百五十俵為小普請入

重成 女

小林長十郎

長左衛門

生沢

承應三年甲午二月廿五 卿命仕為御書院番衆

右京亮組明暦二年申

月病死 壽全長寺

法名

小林長七郎 女

承應二年癸生沢

無嗣断絶

明暦二年四月十二日卒法号
万治二年己亥十八歳年七拾金長寺
号玉峰永珊童子

小林長兵衛
尉

生江戸
新発為大御番田中大隅守組与
元禄九年丙子七二歳年
号太雲院石居士

拾金長寺

小林三太夫
妻

生没
元禄九年子十二六ヶ月二百俵蔵門西林光中村坐屋
相模守傳之為小番請大久保玄蕃頭組

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

小林十右衛門

如同

生江戸
寛文元年辛丑五月八新規為大御番大番頭
部下賜二百俵同五年乙十二月廿五為大坂御城番
加百俵合賜三百俵同年十二月廿八大坂御城
元禄三年庚午十二為大坂御金奉行
宝永三年丙戌四月病辞為小普請大島肥前守組
同六年己丑十月廿九致仕
号義翁堅忠居士
葬全長寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
女

小林勝之助 正羽寺

小林長五郎

直陸
女同 宝永元年 [illegible]
[illegible]

生江戸
元禄四年未十二月二日 部屋住為大行番之座山城守紀勝
二百俵宝永四年子六月八日 [illegible]
享保十一年午四十六歳
号元睦 柳荘居士

小林長助
女

元禄十六年癸未六月廿
于蓮宝智居士

小林五郎三郎
女

生江戸
宝永六年丑十月五日 襲直政跡目三百俵 菊間縁座
列座 屋敷相模守像ヲ為中興ノ
享保
元文四年己未八十九歳 牡丹堂 [illegible]
等五世孫 因長寺号 [illegible]

女子
御小性組
能勢縁弥頼富妻
童形

享保二年丁酉七月廿
[illegible]
秋香

宝暦三年十二月廿日 朗悟寺
賢窟院妙住日信大姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正識　小林九藏

實父

實母

寛保四甲子生江戸
元文四年七未八十九歳菊川御老中列
本多弾正大輔傳之為中奥詰能勢出羽守
同年十七九為大御番杉本和泉守組
明和三年丙戌十月以病辞為中奥詰
同四年丁亥八四致仕安永七年戊戌十一月廿五日於官六十五
葬国長寺号直心院殿見山了悟居士

次男大吏

正統　小林鍬次郎

女

十右衛門

生江戸
明和四年丁亥八四家督三百俵菊川御老中列座阿部伊予守
傳之為中奥詰寛政元年四月廿四日病死同六年正月廿二日大御番
杉浦出羽守組天明元年辛丑十二月廿五日病辞為中奥詰

安永四年乙未七月廿五日於官同
号天著院殿花顔妖夢大姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

正壽　小林幸之助　廿

主注
文化二年乙丑五月歿享年二百俵為小普請

十右衛門

正忠　小林勝之助　卅

天正四年丙子生初
同十六年戊子遣地濱松希始拜
大神君為御小性慶長十九年甲寅
冬陣之時為水野日向守跡御門番頭
寛永元年甲子以　上意為水野日向守跡
亦河村善次郎同預同心二十人其冬暴病被為
獨勞慶安五年辰五月九日致年七十七葬福壽寺
号注恩院殿給善夏月信士

宗次　小林勝左衛門

女　寿

生江州
元和元年乙卯九新規為大御番組三百俵後御徒
小普請
寛永十六年己卯八組頭
同年
七月山崎山石居士

宗重　小林太郎助

女

慶長六年辛丑生江戸
元和八年壬戌部屋住為大御番組三百俵
寛永十七年庚辰加二百石仰出
寛永十七年庚辰加二百石仰出
寛永十年癸酉八月十五日
七月廿五日宗海浄寿尼
寿命院
寿命院開基

方信　小林金右衛門

女

生江戸
寛永十八年辛巳四月三百俵後御徒
承應元年壬辰十一月
寛文九年己酉十二月新御番渡辺半左衛門組
延宝二年甲寅
致死

寛文十年庚戌御用地蹈図違背御糺明時心病辞退
寛文十年庚戌十一月廿五日致死
号法暁院殿覚香正通居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

文禁 小林三郎右衛門

切

生没
明暦三年丁酉七十六歳
為大御番組平九郎宅文元年
二百俵地定三年乙卯十
同九年丙辰為
元禄三年庚午七十四
同十年丁巳七六歳仕

戌辰 如

小林金右衛門

三郎右衛門

妻同姓甚五右衛門宗房女

生没
元禄十年丁丑七六歳
同十四年辛巳二十為大御番
享保七年壬寅四四病
享保七年壬寅四四病
為小普請
為小普請大久保玄蕃頭

李子 如同

横山金兵衛

正常 小林金右衛門

如同姓甚五右衛門宗房女

三郎右衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

寿松寺 嵯峨 二男

生江戸

寺保七年寅冒頭目五男為小普請水納屋助右
同十三年辰二月二為大御番
元文二年巳八十三二條仕番勿論
号勇心院元切道智居士

正脩 小林金右衛門 伯庄三郎

寅 同姓阿波寺番御二男

寅女

寿 小林平兵衛 伯庄三郎

寺保十五年庚辰五月
元文二年丁巳十一三跡目五百石
於菊門御老中列坐

松平伊豆守傳通為中奏緒小陽居
延享三年丙寅十九為大御番
明和六年己丑十二九病気為小普請
安永五年丙申六四改年四十七
于龍性院一應唯心居士

正路 小林福次郎

寅土岐大隅守頼卿二男
寅母家女

生江戸

寺永五年申十一廿一改年
号彩雲院大泡現海居士

寿天龍寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

女子　八木禮五郎
寛文六丙午年大阪寺内軽罪着手

正室　小林伊織　三女
妾

生江戸
寛永五年
元和五年己卯年
寛政四年壬子二十七乙酉年
同七年乙卯四月七日病死
法名為中善信時為大徹香
同十年癸酉年

妻　少林平左衛門正房

五百石下野國那須郡高瀬村
船澤村三十三石四斗三合内四斗八升少物
同苅田村四十三石三合内三斗九升三合
同塙村百三十九石七斗六升三合
同郡留村八十三石七斗六升三合
併六百石拾九石四斗三升三合

妻　同國國那
同和田村　年号未詳
内七升五合少物
同藤田村百十四石三斗六升
同西田村　四十石三斗六升
二合

正成　小林太郎左衛門
妻

生江戸
寛永十年癸酉新規為小十人組
寛文二年壬寅五月七日病死
于先現院堂誉誉運居士

伴満　小林又四郎
寅
妻

生江戸
寛文三年癸卯十九歳
百俵

宗信　小林太郎八　六郎右衛門

生年
寛永十五年戊寅四　新規為大御番水野備後守組
二百俵寛文五年乙巳七月十二日六　御材木奉行
同八年戊申十二月五日加百俵　合弐百俵
三百俵

宗玄　小林三之丞　六郎右衛門

寛文元年辛丑二月九日　寿圓寺
于駿府遊夢寺

万治四年辛丑六月六日　寿圓寺
于遊幻寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生江戸

寛文十年庚戌七十二始 御目見延宝六年戊午三十九訶任
位為大御番、武田越前守組
寄合二年壬辰六十二病終
元禄 年 領三百俵同九年子閏十二月五為新御番
宝永四年丁亥五十九為大坂御城番奉行
正徳四年甲午一箱為大坂御金奉行享保二年十酉九二月廿
年

信政 小林太郎八 御目見延宝六年戊午三十九訶任
生江戸 領三百俵寄合
大番
大坂御城番奉行
新御番
大坂御金奉行享保二年十酉九二月廿

小林

宝永六年己丑四大部屋住為大御番太田陽叔寺組賜
二百俵享保二年丁酉十二月廿一日三百俵菊間縁側御老中
列坐戸田山城守傳之
同九年甲辰四十一為大坂御弓奉行廿五年庚
年 戌

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

宗房　小林甚五左衛門

女子

妻宮崎若狭守重成女

再妻勝　治左衛門正重女

寛永十二年乙亥生

慶安二年己丑三月始　御目見承應二年癸巳二月廿三日
為大御番加俸後寺社賜二百俵　寛文十年庚戌十二
月四日百石延宝七年己未五月九日
御勘奉行
貞享四年丁卯十一月六日病
元禄四年辛未六月廿五日致仕
号香明院通翁道圓居士
寿洞雲寺

女子　母　菅沼平左衛門勝重室

守春　母　小林太郎助　始辻之助

生江戸　貞享四年丁卯九六始　御目見元禄四年未七廿一
跡目四百石菊間而御老中列座ニ而山城守傳ニ為
中要請仙石因幡守貞国十三年庚辰正月為大御番
屋代越中守組正徳二年壬辰廿四日卒

号嶺雲院殿雄山全堂居士

春卿　母　小林吉之亟　阿波守

妻　永田弥左衛門　女

元禄十年丁丑生江戸
正徳三年癸巳九十三跡目四百石
為中要請仙石因幡守組頭
采津出羽守組同二十年乙卯十一十八為大御番組頭
延享二年乙丑九朔為御徒頭寛延三年庚午正十一為
御先手頭宝暦二年壬申二十五為佐渡奉行
同三年癸酉十二廿四為京都町奉行　敏諸太夫改阿波守

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

明和三年癸酉九十二為御書請奉行同年六十六
年七十年河内守桃源院殿前阿州刺史従五位
行朝散大夫看應本卿大居士

同卿　小林　治左衛門
　女
　　寺係十竟也生居
　　宝暦十二年壬午十二廿一歿年三十八葬同寺
　　号等得院孝山禅忠居士

正員　小林全右衛門　為同姓三郎左衛門正常
　女同　　養子

光伴　小林
　　寅松平五郎兵衛光甫四男
　　実女

生居
宝暦十二年癸未十二廿為養子松平能登守監傳之
明和三年丙戌十二廿七跡目四百石若閣命御老中列坐
阿部伊予守傳之為中奥請神祭奥次之間又帋
同四年丁亥二廿七為御書院番松平伊豆守
同六年己丑六十九病辞為小普請松平采馬介支帋
安永二年癸巳二廿五再為御書院番次席従弟美濃守
同年七朔没年　　号天心院本源自性居士
　　　　　　　　葬同寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

春芙　小林吉之助

女子　母

生母
安永二年甲午十六歳同四年乙未御番入
被召仕御手傳之為小普請奥田美濃守養
天明八年戊申六十三為大御番宗極備前守組
寛政六年甲寅五十九歳奥田家正傳之為
中奥番
同九年丁巳十二月三為新御番
同十一年己未十二月八病辞戸田家事正傳之為
諸戸田中務大輔文化四年丁卯七月九致仕

春行　小林太郎助

母

生母
文化四年丁卯七月九家督前右衛門

女子　母

生母
小野長右衛門妻

小林甚之助

女

生母
文政四辛巳九廿五家督

寛永十九年巳年生之
但月日之不知
角左ヘ

小林権之助
正重
女 小林角右衛門正時女
天正七年己卯生 文禄四年乙未十五歳
慶長三年戊戌十六 上野国新田郡三百石
台徳公為大御番組百五十俵加二百石為御切米
如行上知合賜三百五十石寛永十七年庚辰十七歳
六十二 寿妙法 小日向 徳雲寺号光岩宗林居士

小林角右衛門正時女
正重
女 小林権十郎
女子 第八男信元妻
女子 布施安芸西定妻 戸田又左衛門

小林角右衛門常清
寛永十九年壬午生 五拾弐年間
子月金桂秋禅尼

政利
小林伊九衛門
寛永十七年庚辰二男
母ハ某氏某女
寛永十八年辛巳生
母正勝女
寛文七年丁未七五歳
同年十二廿一為大御番同年十二月廿三日四百石
元禄七年甲戌十二十五為同
同十二年己卯六二病辞
寿宗竹春海春
小林伊九衛門正重春
小林
母ハ某氏
正徳二年壬辰六五歳
母正勝女
女子 某
小林
母ハ某氏
某
小林
母ハ某氏
女子 某
小林
母ハ某氏
女子 某
小林
母ハ某氏
女子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

時服若干領賜
寛文二年庚寅八廿六政
号遠寿院殿
小林數馬

政房 四

正滞 小林十太郎
明親 四

妻 望月八郎左衛門尉
宝暦六年丙子正月十二日政
号霊性院殿寒清宗光居士

権十郎

延享三年丙寅二十五
明和元年甲申閏十月
安永四年乙未四月日
鳥討時供三騎

妻 使橋本弥
稲垣重
藤九郎

宝暦七年丁丑十九政
号

悼信公

寛政二年庚戌十三日
四十年庚午十二月
号宗

生母

妻 和田三郎左衛門
寅七月
利兵衛
女

明和二年乙酉九十二政
号知見院頓乃無生信

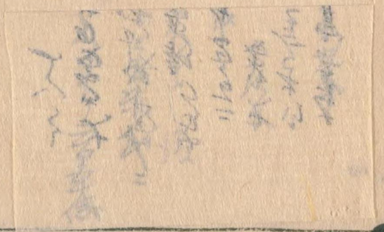
子 幼年より御小姓
正之 表門之後家
為表門番士
女子

妻 小林政右衛門
嵩

寛政元年酉九政
号秋岸院祥山玄恵居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
安藤左衛門尉
女子
實坂部左衛門尉
女子
安藤左衛門尉
女子
小林富太郎
女子
安藤左衛門尉
女子
小林權十郎
女子
文右衛門
女子
小林富太郎
女子
安藤左衛門尉
女子
小林富太郎
女子
安藤左衛門尉
女子
小林富太郎
女子
安藤左衛門尉



正通 小林彦兵衛

正武通 女 母小林角左エ門正重二男

生年月日 寛永十年乙酉九二月廿日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

貞享三年丙寅十二月廿七日卒寛松林院殿

正信 小林太郎兵衛 壽命勝寺

實遠山平右衛門某男

生江戸 正室ハ終リ三條ノ養子ニ成 貞享四年丁卯七月一日二百石ヲ賜リ御先手ニ列ス 戸田山城守傳之為小普請 元祿七年甲戌二月廿五日大御番中根大陽寺組ニ移ル 同十七年甲申閏九月勝手御赦ニ逢ヒ三十俵ニ成 宝永七年庚寅十二月廿九日卒 壽命勝寺

女子 妻 正室ハ後妻 堀十左衛門某女 利莫女

正壽 十郎源左衛門 寛文十年庚戌生 寛文十一年辛亥十月廿一日家督ヲ継ク 正利三男後家門

正租 小林九郎兵衛 彦十郎 彦兵衛

寛文五年乙巳生 實ハ出本兵衛經茂三男 實妙家ヲ

壽江原兵衛某女

生江戸 宝永二年乙酉九月朔日 常憲公 御目見 天明三年癸卯九月廿日 文恭院殿大御所 御逝去 為大御番 北條對馬守組 同六年丙午二月廿六日 御目見 同六年丙午四月廿四日 小普請ニ移ル 井上河内守傳之 正徳元年辛卯十月廿六日 寺社奉行 本多伯耆守組 享保九年甲辰二月廿三日 新御番 元文二年丁巳閏十二月廿三日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

大納言居御門土屋平三郎組同四年辛未主計頭組與頭寛延四年辛未五十四為御留守居
御門番頭（同年三十八歳布衣）宝暦五年乙亥八四致寿全勝寺
与與相続被　仰付相勤居申候

女子
母江原兵橋女博女

正澳（ママ）小林金五郎
實ハ岩佐金左衛門
寅母
寿正植女
生母
享保十年乙巳三月為養子
元文四年己未十一七始御目見（看徒ニ入）
享保廿年乙卯三月廿七日
寺社奉行松平伯耆守
御目見

女子
母江原兵橋女博女

正澳（ママ）小林金五郎
實ハ岩佐金左衛門
寅母
寿正植女
生母
享保十年乙巳三月為養子
元文四年己未十一七始御目見（看徒ニ入）
享保廿年乙卯三月廿七日
寺社奉行松平伯耆守
御目見

女子　

生江戸
宝暦四年甲戌小十七為祖父嫡孫承祖父跡
同五年乙亥十七祖父逝
同十二年壬午二十六為宛徳御書院番
明和五年戊子三二致仕
于慈徳院孝岩周成居士
時明 小長谷大治右衛門時平養子
為小長谷九郎右衛門時平養子
天明二年壬寅十二月廿四日寺
于常照院殉死 法名銃心信士

正為 小林助三郎 全布玉男
実江原権助
妻母実大森氏

妻 掃井源右衛門元純女

生江戸
明和五年戊子六月廿日二百五十俵前同心
同六年己丑十一月廿四日御先手組
同九年壬辰四月廿四日病死 法名天明元年
十二月廿四日

阿部伊勢守傳之為小普請被仰付
寛政二年庚戌十七為賄方勤
文化二年乙丑九月致仕

正最 小林寄三郎
母掃井源右衛門元純女

生江戸
文化二年乙丑九月家督二百五十俵為賄方勤

平九郎 正次男

正倫（トモ） 小林甚四郎

母 伊賀守臣
山田但馬正室

生ル 享保十三年

元和三年 叙爵 従五位下 侍従 長門守

寛永十年 卒 年 歳

寿仰 宝殿 地濃 葬ル

綜倫（トモ） 小林孫太夫

母 加藤源蔵 女

妻 土井大炊頭 女

元和八年 生ル

寛文二年 壬寅 卒 年 歳

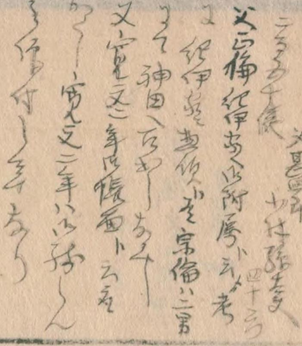
神田御殿 後為 御倉奉行 蹟二百俵

（寛文二年 壬寅 十二月 廿 日 卒）

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

神田弥次郎



平九郎 正次男

正倫（トモ）　小林甚四郎

妣 紀伊宰臣山田但馬正重女

生於慶長十三年戊申 拾七歳にて元和元年乙卯 紀伊頼宣卿 寛永十年癸酉 年数廿年奉仕之事

寿 紀伊宰臣 御納戸頭 世濃守 濃之事

宗倫（トモ）　小林孫太夫

妣 御納戸頭 濃守 娘

寿 小林孫太夫 正敬女

元和二年丙辰生於紀伊頼宣卿 寛永十年癸酉 年数廿年奉仕之事

寿 神田孫次郎 書院番頭 御金奉行 嫡子 後為御金奉行 嫡子 正寅十二月廿二日 寛文五乙巳年十二月廿二日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

出羽守
源氏
清和天皇
後胤

多移　御本尊天和三年癸亥中尊像
行移　貞享四年丁卯九廿八改
貞享四年丁卯九廿八改　寺号
寺號善光院殿月顒正圓居士
某紀伊國殿御領内為菩提
女子百年供養之為也　某書

小林喜平次

正賢　女　妻長塚傳七郎正成女
孫三郎

元祿七年甲戌十一月廿五日
号白松院頭翁妙意信士

主計
貞享四年丁卯十二月九日
戸田山城守傳之為十三回追
善供養也　施主
通家

正永　女　妻
小林傳左衛門正久為菩
提之為養子

女子　山中新兵衛時馬妻

正貞　小林名孫十郎　妻
女長塚傳七郎正成女

女　妻　宮城縫殿之助正元女
妹リエ

有住宅代々幕府御家人
享十三年御出勤
十二月二日御供仕
組頭

小松宰相中将重盛公第二男
母平氏
従三位
治承三年十一月廿九日
内大臣
正二位
寿永二年七月廿五日
薨
年四十二
法名正寿
号小松殿
葬大谷墓地
天明元年五月十六日奉贈従一位

△下

正時
母平氏
生レテ
官従五位下侍従
妻田澤五郎重教女
天明元年十二月廿五日
叙従四位下
寛延元年三月廿二日
薨
年六十二
号真珠院
法名
葬大谷墓地

女子
母平氏
夭

正順
母昌教女

女子三人

小林宰相次郎

正寿
母平氏
従三位
治承三年
薨
年廿二

女子
母伊賀局
生レテ
夭

天明元年五月廿六日
薨
年九十
号稲生院
法名
葬大谷墓地

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

某 小林二郎

姉 三宅藤子

天保

小林孫一五

平井富治右衛門実小林修理助正陽弟

小林軍次郎

生沼

小林平右衛門妻

宇都宮藩家老戸田釆女小林民部女婿藤宗

小林民部女婿藤宗正時

生沼

小林平右衛門妻

小林修理助女

天明元年十二月九廿六日年

于穏全法船称善信尼

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用